

殺虫剤

[チアクロプリド水和剤] エコワン[®]3フロアブル 有効成分：チアクロプリド…3.0% ①：エコワンは井筒屋化学産業株式会社の登録商標です	登録番号	第 20897 号
	性 状	類白色水和性粘稠懸濁液体
	人畜毒性	普通物 〔毒劇物に該当しないものを指していう通称〕
	消 防 法	-〔危険物に該当しない〕
	有効期限	3 年
	包装容器	10L、5L 赤 [®] リフレ袋(キ [®] ビ [®] ナー) (外装：段ボール箱入り) 500mL 赤 [®] リフレ瓶



【特長】

有効成分チアクロプリドとフロアブル製剤技術によって、“1回散布で松くい虫防除シーズンをカバーする”をコンセプトとして開発された松枯れ防止用の散布剤です。

- ・有効成分チアクロプリドがマツノダラカミキリ成虫の後食活動を低薬量で長期間予防します。
- ・人や鳥獣に対する安全性が高い薬剤です。
- ・不快臭・刺激臭がありませんので、薬剤調製時や散布時に作業員や周辺の住民に不快感を与える心配はありません。
- ・通常的使用方法では、スギ、ヒノキ等の樹木や芝、野菜・果実等の農作物に薬害の心配はありません。
(散布後の天候条件や作物品種によっては薬害が生じる可能性があります)
- ・通常的使用方法では、ミツバチやマルハナバチ等の有用昆虫への影響が少ない薬剤です。
- ・有効成分の蒸気圧は低く、大気中に拡散する心配がありません。また、土壌や河川に落下しても速やかに分解されますので、環境に対する負荷が少ない薬剤です。
- ・塗装面や墓石の表面に薬剤が付着しても、速やかに洗浄すれば着色や退色の心配はありません。
(塗装により、付着した薬剤が落ちにくい場合があるので、付着後は速やかに洗浄してください)
- ・有機溶媒を使用せず、水をベースとしたフロアブル製剤ですので、火災の危険性もありません。

◎使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数 ※1	使用方法	チアクロプリドを含む 農薬の 総使用回数※2
まつ (生立木)	マツノダラカミキリ成虫	20 倍	3L/10 a	成虫発生初期及び 発生最盛期直前	3 回以内	無人航空機 による散布	3 回以内
		40 倍	6L/10 a			空中散布	
		7.5 倍	3L/10 a	成虫発生直前又は 発生初期			
	100~ 200 倍	3L/本 (樹高 10 m)	幼虫発生前から幼 虫発生期	散布			
	マツカレハ						

※1 本剤の使用回数 : 各剤を単独で使用する場合、防除シーズン（使用時期）に3回まで使用できます。

※2 チアクロプリドを含む農薬の総使用回数 : チアクロプリドを含有する数種類の薬剤を使用する場合、防除シーズン（使用時期）に3回まで使用できます。

◎使用上の注意《ラベルをよく読んでください》

- （1）本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。
- （2）使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- （3）本剤によるマツノダラカミキリ成虫防除は後食防止を目的とするため、本剤を空中散布及び無人航空機による散布として使用する場合は、以下の項目を守ってください。
 - ①20 倍または40 倍希釈液での空中散布、及び20 倍希釈液での無人航空機による散布にあっては、成虫発生初期及び発生最盛期直前に時期を失ないように樹冠部全面にむらなく散布してください。
 - ②7.5 倍希釈液での空中散布にあっては、成虫発生直前又は発生初期に時期を失ないように樹冠部全面にむらなく散布してください。
 - ③散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - ④無人航空機による散布にあっては、散布機種に適合した散布装置を使用し、対象松林の梢端が見える場所で行ってください。
 - ⑤散布液が漏れないように機体の散布用配管、その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ⑥散布液の飛散によって他の動植物に被害を与える恐れがあるので、散布区域の選定に注意し、境界領域内の諸物件にも十分留意してください。なお実施に当たっては、事前に関係業者と安全対策について十分協議してください。
 - ⑦使用残りの薬剤は必ず安全な場所に責任者を決めて保管してください。
 - ⑧機体の散布装置の洗浄水は河川等に流さないでください。
- （4）（地上散布の場合）本剤によるマツノダラカミキリ成虫防除は後食防止を目的とするため、成虫発生直前又は発生初期に時期を失ないように樹冠部全面にむらなく散布してください。長期間にわたり成虫が発生する地域では、成虫の発生状況に応じて、もう一度散布するとより効果的です。

- (5) 降雨前後の散布は殺虫効果が劣るのでさけてください。
- (6) ネクタリン及びすももでは品種により葉に葉害（軽い穴あき症状）を生ずることがあるので、付近にある場合はかからないように注意してください。
- (7) 本剤は蚕に対して長期間毒性があるので、近くに桑園がある場所では使用しないでください。
- (8) 水源池、養殖池等に本剤が飛散、流入しないよう十分に注意してください。
- (9) 散布器具、容器の洗浄水は河川等に流さず、空容器等は環境に影響を与えないように適切に処理してください。
- (10) 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、林業技術者等の指導を受けることが望ましい。

◎安全使用上の注意

- (1) 誤飲などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- (2) 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- (3) 散布の際は農薬用マスク、手袋などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
- (4) 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てる等配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

◎水産動植物に対する注意

散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

◎危険性情報と貯蔵上の注意

- (1) 通常の使用方法では該当する危険性はありません。
- (2) 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

※製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。

農薬登録会社：井筒屋化学産業株式会社